

利賀こどもの時間 A to Z

発行日 2019年1月31日

執筆 富山福祉短期大学幼児教育学科2年藤井ゼミ（自然保育）

石黒友唯

館優香

堂口佳奈

堀井優衣翔

本波真弥

増山日和子

藤井徳子（助教）

協力 一般社団法人 TOGA 森の大学校

一般社団法人 moribio 森の暮らし研究所 江尻美佐子

大学コンソーシアム富山

利賀ささゆり保育園

富山森のこども園

中西邦廉

南砺市こども課 （50音順、敬称略）

発行 富山福祉短期大学幼児教育学科 藤井研究室

fujii@te.urayama.ac.jp

0766-55-5567



大学コンソーシアム富山
H30年度学生による地域フィールドワーク研究助成事業



MESSAGE

「利賀のこどもの時間 AtoZ」は 2018 年 10 月～ 11 月に富山福祉短期大学幼稚教育学科 2 年藤井ゼミ生 6 名が、「利賀の自然・こども・未来」プロジェクトとして、自然保育活動やワークショップを行った成果として制作したものです。

ワークショップで上映した「こどもの時間」（2001 年野中真理子監督作品）に登場する子どもたちは、どこまでも自由で、たくましく、生きる力がみなぎっていました。どの子も、人生の始まりはこうであってほしいと願わずにはいられませんでした。

誰もが授かる一度きりの「こどもの時間」

利賀のこどもたちにどんな「こどもの時間」を贈りたいですか？

大人たちは、どのように「こどもの時間」を見守ってあげられるでしょうか？

このミニブックで

- ・利賀ファンが増えること
- ・利賀の自然や自然の恵みを再発見し、子どもたちや子育て世代がふるさとを誇りに思えるようになること
- ・「こどもの時間」について、たくさんの人人に理解してもらえること

を願っています。

本プロジェクトにご協力くださいました利賀地域のみなさま、本当にありがとうございました。

藤井徳子



MEMBER

「利賀こどもの時間 AtoZ」ゼミ生自己紹介



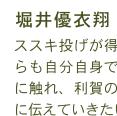
石黒友唯

外遊びが大好きな石黒です。利賀の豊かな自然の中で子どもたちと触れ合ったり、地域の方から利賀の伝統についてお聞きしたりできたことが嬉しかったです。



黒田佳奈

クリガタ大好き堂口です！自然豊かな利賀で、利賀さきゆり保育園の元気な子どもたちと触れ合えたこと、ワークショップの夜に圍炉裏を囲んで利賀の美味しいものをたくさんご馳走になったことなど、利賀でしかできない素敵な体験を満喫しました。ありがとうございました！！



堀井優衣翔

スキ投げが得意な堀井です。これからも自分自身で利賀の伝統や文化などに触れて、利賀のことをもっと多くの人に伝えたいと思います。



本波真弥

私は、短大に入ってゼミ活動などを通じてたくさんの自然保育を学んできました。利賀での活動はその集大成です。私たちが利賀の子どもたちや地域の方と関わる中で、どんなことを感じたのか、この AtoZ ブックを通して知ってもらえて嬉しいです！！



増山日和子

私は 1 年生の時から、藤井ゼミで自然保育について学んできました。森のようちえんや里山さんぽ活動に参加していくうちに、自然のなかで見られる子どもたちのいきいきした姿が大好きになりました。今回の利賀での活動もとても楽しく、学び多いものでした。将来は自然保育をどんどん取り入れていきたいと思っています。



藤井ノリチエル先生

ゼミがスタートして以来、みなさんは自然保育の現場で実践を重ねてきました。回を重ねることに、自然保育技術はもちろん、子どもたちや大人の人たちとのコミュニケーション、社会人としてのふるまいなど、どんどん成長していく姿はとても頼もしく嬉しいものでした。ハイエースにギュウギュウ乗りで利賀までドライブしたこと、自分たちで考案したおさんぽプログラムで子どもたちと一緒に楽しめたこと、利賀の方々と夜遅くまで語り合ったこと、利賀でもたくさんの体験をさせていただきましたね。4 月からはいよいよ保育士デビューですね。子どもたちの“こどもの時間”が豊かなものとなるよう励んでください。期待しています！

森であそぼう！
里山さんぽ

in 利賀ささゆり保育園



“いつものさんぽ道をもっと楽しく！”
利賀ならではの自然や地域資源を活かして、自然遊びを満喫しました。

プログラム

- ①森の準備体操 → 
- ②おさんぽに出発 → 
- ③桂の木の民話を聞く → 
- ④ヤギとの触れ合い&小枝パチンコ → 

ワークショップ 「利賀のこどもたちの未来」



映画「こどもの時間」を鑑賞した後、「利賀の自然・こども・未来」をテーマにワールドカフェを行いました。“えんたくん”を囲んで、保護者、保育者、行政職員、地域のみなさん、学生たちが集い、それぞれの思いを語り合いました。





参 加 者 の 声

利賀村での子育てについて考える良い機会になり、感じたことや話合ったことを今後に生かしていきたいと思っています。あらためて利賀での子育てを選んで良かった！と思えました！

CONTENTS 利賀の魅力を A to Z のキーワードでリストアップしました。

A あそび
B 冒険
C challenge (挑戦)
D どろんこ
E 笑顔
F friend
G 元気
H 人と人とのつながり
I 生きる
J 自由
K カツラの木
L learn (学ぶ)
M 森

N nature (自然)
O ○ (輪)
P plan (計画)
Q quality of life (豊かな暮らし)
R ロンレー村
S ささゆり保育園
T 体験
U 受け継ぐ
V voice
W walk
X 「10 × 10」
Y 豊か
Z zeal (熱量)

A

あそび

利賀の自然の中にはたくさん遊びが広がっています。山道を冒険しながら草むらをかき分けたり、どんぐりをみつけたり、ススキを飛ばしてみたり、楽しみ方はさまざまです。いろんな発見を友達同士で共有し合うことも楽しみのひとつです。



B

冒険

里山さんぽのときに子ども達に質問しました。「アスファルトの道とみんなより背の高い草が生えている道とどっちがいい？」すると「こっち」と草が生えている道を指していました。そんな、子どもの姿から冒険心を感じました。



C

challenge (挑戦)

里山さんぽでは、普段は歩かない茂みをあえてかき分けながら歩いたり、小枝パチンコで的に向かってどんぐりを飛ばしてみたり、たくさんチャレンジが見られました。少し高いハードルに挑むときの子どもたちの真剣な表情や夢中になっている姿はとてもかっこいいのです！



D

どろんこ

泥遊びはとても身边にある自然遊びの一つです。水、砂、土(泥)は、子どもたちの身も心も解放し「本来の自分らしさ」が溢れ出させてくれます。利賀の子どもたちが思う存分泥んこ遊びをしたときは、「いっぱい遊べてよかったです！」と声をかけてあげてください。



E

笑顔

「利賀の子どもの時間」をテーマに、いろいろな年代の方々と語り合いました。「昔はこんな遊びをしたったが。」「今でも、ここは子どもの遊び場だよね。」と話す利賀の方たちの笑顔がとても印象的でした。



F

friend

園生活の中で友達と一緒に遊んだり、協力して何かに取り組んだり、こうして友達と過ごす時間が豊かな人間関係を育んでいきます。園の仲間や地域のみなさんと共に楽しみ支え合える利賀はとても温かいです。



G

元気

利賀ささゆり保育園では、0歳～年長さんまで、みんなで一緒にあさんぽにてかけます。草が生い茂った山道もはりきって歩きます。歌いながら、スキップしながら、手をつなぎながら、元気いっぱい歩きます。



H

人と人とのつながり

「自然・子ども・未来」プロジェクトを行った際、集まった村の方々のほとんどが知り合い同士で、仲良く会話をしている姿が見られました。小規模な利賀ですが、それだけに住民同士の絆が強く結ばれていることを知りました。



I

生きる

利賀では田んぼや畑が身边に広がっています。子どもたちも一緒になって手伝いをしています。育てた食材を使っておもてなしをしている宿もあります。人も草木も生き物たちも、豊かな自然のなかで精一杯生きています。



J

自由

利賀ささゆり保育園で実施した「里山さんぽ」では、子やぎに餌をあげたり、小枝バチンコでどんぐりを飛ばしたりするプログラムを準備しました。子ども達は大人が想定している以上の遊びをします。自由な発想で、遊びを展開していく姿がみられました。



K

カツラの木

秋のカツラの木は、綿菓子のような甘い香りがします。利賀の民話「桂の木の地蔵さま」にも登場する巨大なカツラの木の根元の穴には地蔵様が安置されていると言われています。子どもたちは興味津々に穴の中を覗いていました。



L

learn
(学ぶ)

あさんぽ中、草原に咲いている草花の名前を友達と教え合ったり、保育者に質問したりするなど、たくさんの方の「知りたい!」「やってみたい!」が見られました。



M

森

雄大な自然に包まれている利賀。森の中にはたくさんの楽しみがありました。見たことのない木の実や、植物。歴史のある石やカツラの木。山ドウの実、ムカゴ、ホオズキ・季節の宝物がいっぱいでした。



N

nature
(自然)

標高1000m以上の山々に囲まれた利賀には四季折々の自然が広がっています。97%が森林で、多くの動物たちが住んでいます。秋には色とりどりの紅葉を楽しむことができ、冬には4mもの積雪でまさに銀世界となります。



O

○
(輪)

利賀で行った「ワールドカフェ」では、「えんたくん」というアイテムを使いました。えんたくんを囲んで輪になつて座ると、ちょうどいい距離感が生まれ、自然と話も弾みます。「利賀の人々の心の輪」にも気づくことができました。



P

plan
(計画)

子どもたちは何に興味を示すだろう。この遊びで子どもたちにどんな力を育むことができるだろう。危険な場所はないか。フィールドの事前下見で、自分の目で見て、自分の足で歩いて、確かめます。しっかりと計画を立て、準備をすることで、子どもたちは自然の中でも安全に、のびのびと、楽しく遊ぶことができるのです。



Q

quality of life
(豊かな暮らし)

子どもたちの利賀での暮らしが、子どもたち一人ひとりの人生をつくり、文化や伝統を紡ぎ、利賀の未来を作っていく。子どもたちの「子どもらしい暮らし」が続いていきますように。



R

ロンレー村

利賀村に昔からある、遊び場です。今はあまり使われていないようですが、大人になった利賀村のみなさんが「懐かしいね」と思い出に浸り、共感している姿が見られました。手作りの木の遊具で遊べるそうです。行ってみたい！



S

ささゆり保育園

利賀ささゆり保育園は、利賀川と山々に囲まれた自然豊かな環境にあります。小さい子から大きい子まで一緒に遊び、家庭的な温かい雰囲気の中で保育を行っています。園児の祖父母や地域の方との交流もあり、人とのふれあいを大切にしている保育園です。



T

体験

利賀にはたくさんの植物や虫たち、動物たちがいて、大人の私でも楽しめる新しい発見や体験がたくさんできるのが利賀のすてきなところだと思います。幼児期の豊かな原体験が子どもたちの生きる力を育みます。



U

受け継ぐ

これから利賀を盛り上げていくためには、未来を生きる子どもたちに利賀の文化や伝統を伝え継ぐことが大切です。そんな保育環境、子育て環境を整えることが大人の役目です。



V

voice

子ども達は友達や家族、保育者に様々なことを伝えます。話し手の声が聞き手の「心」に響くとき、その声には聞き手を動かすパワーが宿ります。声は最大のコミュニケーションをとる方法です。優しい声、温かい声で語り合いたいですね。



W

walk

あさんぽコースには坂道や茂みなど歩きにくい場所もたくさんあります。子どもたちはそれさえも楽しみながら歩いていきます。たくさん歩く！元気に歩く！大好きな人と一緒に歩く！歩けば大きく強くなる！



X

「10×10」

利賀ささゆり保育園の子どもたち。パワーを「10+10」と考えると少ないように感じますが、「10×10」になると一人ひとりの力が大きくなります。人数が少なくとも、子どもたち一人ひとりが友だちや先生、地域の方たちと多様に関わり合うことで、経験は何倍にも大きくなり、多くの学びを得ることができます。



Y

豊か

自然が豊か。遊びが豊か。笑顔が豊か。関わりが豊か。感情が豊か。利賀でたくさんの豊かさを確かめることができました。すべてがとてもあたたかく、利賀を訪れる人の心も豊かにしてくれます！



Z

zeal
(熱量)

利賀の人たちの熱い想いが私たち学生の心にも響きました。利賀に行き、子どもたちと触れ合い、保護者の方や地域の方々と語り合いました。ここなら、自然の中でのびのびと子育てができると感じました。利賀についてもっと多くの人に知つてもらえたたら嬉しいです。



利賀在住

moribio 森の暮らし研究所
江尻美佐子さんに

Q 利賀について
おたずねしました

キリっとした四季を感じることができる利賀。その面積の97%が森林。森林の中には、1つとして同じ木は無い、樹種も違えば多種多様。木のみならず、草も、動物も、菌も。そんな万物と向かい合って人は学び成長する。自然保育を通し、子どもも大人も利賀でひとまわりもふたまわりも大きくなつてほしい。

